

県立湘南高校創立100周年

「湘南高校の行事では、いかにやる気のない生徒にやる気を出させるか。モチベーションを上げるため、達成感のあるイベントをいくつかつづけていくか、考えた。そう話すのは、4年連続日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークス球団社長で、ソフトバンクグループ取締役専務執行役員CFO（最高財務責任者）の後藤芳光さん（58）。

体育祭の花形、仮装のチームリーダーとして1年から3年まで1200人もの生徒をまとめた。「伝えたいことをしっかりと伝え共感してもらい一つのゴールへ突き進む」。そうしたリーダーシップを湘南高校で訓練した、と振り返る。

「湘南高校の行事では、いかにやる気のない生徒にやる気を出させるか。モチベーションを上げるため、達成感のあるイベントをいくつかつづけていくか、考えた。そう話すのは、4年連続日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークス球団社長で、ソフトバンクグループ取締役専務執行役員CFO（最高財務責任者）の後藤芳光さん（58）。

体育祭の花形、仮装のチームリーダーとして1年から3年まで1200人もの生徒をまとめた。「伝えたいことをしっかりと伝え共感してもらい一つのゴールへ突き進む」。そうしたリーダーシップを湘南高校で訓練した、と振り返る。

「湘南高校の行事では、いかにやる気のない生徒にやる気を出させるか。モチベーションを上げるため、達成感のあるイベントをいくつかつづけていくか、考えた。そう話すのは、4年連続日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークス球団社長で、ソフトバンクグループ取締役専務執行役員CFO（最高財務責任者）の後藤芳光さん（58）。

体育祭の花形、仮装のチームリーダーとして1年から3年まで1200人もの生徒をまとめた。「伝えたいことをしっかりと伝え共感してもらい一つのゴールへ突き進む」。そうしたリーダーシップを湘南高校で訓練した、と振り返る。

「湘南高校の行事では、いかにやる気のない生徒にやる気を出させるか。モチベーションを上げるため、達成感のあるイベントをいくつかつづけていくか、考えた。そう話すのは、4年連続日本一に輝いた福岡ソフトバンクホークス球団社長で、ソフトバンクグループ取締役専務執行役員CFO（最高財務責任者）の後藤芳光さん（58）。

体育祭の花形、仮装のチームリーダーとして1年から3年まで1200人もの生徒をまとめた。「伝えたいことをしっかりと伝え共感してもらい一つのゴールへ突き進む」。そうしたリーダーシップを湘南高校で訓練した、と振り返る。

産婦人科医

遠見 才希子さん



全国回り性教育講演

性暴力や意図しない妊娠などの問題がクローズアップされるようになり、性教育への関心が高まったこともある。

高校時代は「憧れの湘南に入学したもの成績はビリで、劣等街道まじぐら。部活もやめてしまい、居場所がなかった。そんな時、他校でチャリティに励む友人に会った。『うらやましかった。その友人に『部がないから帰って来なさい』といわれ、クラスで募集の掲示を見た8人集まった。部員も数人に増え、お披露目の機会もつづられ、22年の歴史を重ねている。『高校生のころ、受診していやな思

国際政治学者

三浦 瑠麗さん



人とその思い大切に

と休みがちに。「ただ黙って座りっぱなしで授業を聞くのは苦手。でも湘南では、課題をクリアすれば単位を落とすことはなく、名物教師がいて、椅子に縛りつけるのではなく、もう少し先で、課題をクリアすれば単位を落とすことはなく、名物教師がいて、椅子に縛りつけるのではなく、もう少し先

弁護士・参院議員

元榮 太一郎さん



起業や政治挑戦続け

「3学年上の先輩方が全国大会に出場した後なので、熱血監督の下で情熱的な指導を受けた。夏の炎天下に毎日10km走り込みをするなど、後に経験した大学のサッカー部の方が楽しかった。おかげでタフネスを身に付けた」。ポジションは左サイドバック。『当時はオーバーラップ戦術の全盛期。フィールドをよく走った』と振り返る。

球団社長

後藤 芳光さん



リーダーシップ学

「ホークスのスローガンは『めざせ世界一』。グローバルに展開する同グループの球団らしく、メジャーリーグとガチンコ勝負するところまでレベルを上げていくため、常に『速く』を見

創部75周年の県立湘南高校合唱部

成長支える人との出会い

コロナ禍で部活動のあり方も変化している。創部75周年を迎えた県立湘南高校合唱部もその一つ。動画作成といった新たな挑戦を始める一方、マスク越しでも質の高い表現力を身につけようと日々努力を続けている（取材日は7月14日）。

逆境ばねに磨く表現力

H!P(エイチピー) 2021.09 No.049 秋号で掲載

県内の全ての県立・市立高校(定時制を含む)と、一部を除く私立高校で配布しています。

※保護者の方は学校または神奈川新聞社へお問い合わせください。

H!P(エイチピー)は、高校生を応援するフリーマガジンです。神奈川県内の約20万人の高校生に、教室で無料配布しています。

神奈川新聞 エイチピー 検索

お問い合わせ先 神奈川新聞社クロスメディア営業局H!P編集部 TEL.045-227-0782 (平日10:00~17:00)

QRコードとInstagramリンク

※H!Pはハイスクールポテンシャルの略。毎号、部活動や地域活動にポジティブに取り組む高校生を紹介しています。▶紙面制作にも現役の高校生記者が活躍中。記者は常時、募集しています。▶タブロイド判フルカラーで年4回発行。▶神奈川県の高校生だけが「載る、つくる、投稿する」で参加できるフリーマガジン、それがH!Pです。▶編集協力:県教育委員会、横浜市教育委員会、川崎市教育委員会、横須賀市教育委員会、県私立中学高等学校協会 ▶発行:神奈川新聞社 ▶HIP公式サイト:http://www.kanagawa-shimbun.jp/hip/